

平成 22 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、平成 23 年 1 月から 2 月末の期間に実施した理学専攻修了予定者に対して行った大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。なお、対象となった学年は、大学院改組の翌年、平成 21 年度の進学者(入学者)である。

アンケート対象者は、総合人間科学研究科理学専攻修了生 59 名のうち 56 名からの回答が得られた。回収率は 94.9%であった。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析

満足できたものを問う設問に関しては、1 年前のアンケート結果と比べ、「修士論文」(44→61%)、および「授業」(17→39%)が大幅に改善している点が注目される。この点については、満足できなかったものとして「授業」を選んだ割合が、49%から 9%へと激減していることと一致し、大学院の授業が満足できたかという直接の設問に対する答えが、18%から 43%へと激増していることとも一致する。また、「研究室での研究やゼミ」、「先生との出会い」も 70%近い数値を維持している。これらの数値から、この 1 年間に、授業と修士論文という、大学院での教育の核となる活動が大きく改善できたことがうかがえる。課外活動に対する満足度が 39%から 20%へと低下しているのは、授業や修士論文など、正課のカリキュラムに対する満足度が高いことを反映していると思われる。

大学の就職支援に対する満足度は、「満足できた」、「ほぼ満足できた」をあわせて 62.5%と、昨年の数値(49%)より相当に改善している。

教育研究施設に関しては 89.3%が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と答えている。これは、この学年が平成 20 年度に行われた耐震改修工事終了後の平成 21 年度に進学してきており、改修後の学習・研究環境の改善がもたらした直接的な効果であろう。

II. 集計結果

表中の数値は、特に表示した場合以外は、回答数である。

1. あなたの所属する講座を下記より選んでください。

- A. 数学（数理科学） B. 物理科学（物質基礎科学） C. 生物科学
D. 地球科学（地球史環境科学） E. 情報科学 F. 応用化学（物質変換科学）
G. 海洋生命・分子工学（生体機能物質工学） H. 災害科学（防災科学）
I. 植物分類・地理学 J. 海底資源科学

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	8	7	6	6	6	8	11	7	0	0	59
回収件数	8	6	2	8	6	7	12	7	0	0	56
回収率(%)	100	86	33	133	100	88	109	100	-	-	94.9

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ D. 先生との出会い

E. 友人との出会い F. 課外活動 G. その他

・学会発表

	A	B	C	D	E	F	G
数学（数理科学）	4	2	5	8	5	2	0
物理科学（物質基礎科学）	4	3	5	5	5	0	0
生物科学	1	1	2	2	0	0	0
地球科学（地球史環境科学）	6	4	4	6	5	2	0
情報科学	4	2	6	3	2	0	0
応用化学（物質変換科学）	3	1	3	1	4	1	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	10	4	9	9	7	3	0
災害科学（防災科学）	2	5	4	4	4	3	0
合計	34	22	38	38	32	11	0
割合（％）	60.7	39.3	67.9	67.9	57.1	19.6	-

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。（複数回答可）

A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ D. 先生とのトラブル
E. 友人とのトラブル F. 課外活動 G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数学（数理科学）	2	1	0	0	0	0	2
物理科学（物質基礎科学）	1	0	0	0	1	2	0
生物科学	1	0	0	0	1	1	0
地球科学（地球史環境科学）	1	1	1	0	0	0	1
情報科学	0	0	0	0	0	1	1
応用化学（物質変換科学）	1	1	0	0	0	3	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	1	2	2	2	3	1	0
災害科学（防災科学）	3		1	1		2	
合計	10	5	4	3	5	10	4
割合（％）	17.9	8.9	7.1	5.4	8.9	17.9	7.1

数学(数理科学)/地球科学(地球史環境科学)/情報科学/海洋生命・分子工学(生体機能物質科学)/災害科学(防災科学)

・ なし

情報科学

・ 新しいことを触ること

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。

A. 満足できた B. 満足できる授業が多かった

C. 満足できる授業が少なかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D

数学（数理科学）	4	4	0	0
物理科学（物質基礎科学）	2	4	0	0
生物科学	2	0	0	0
地球科学（地球史環境科学）	2	5	0	1
情報科学	3	3	0	0
応用化学（物質変換科学）	1	5	1	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	5	6	1	0
災害科学（防災科学）	5	2		0
合計	24	29	2	1
割合（％）	42.9	51.8	3.6	1.8

災害科学(防災科学)

- ・ 早めから日程を決めてほしい。突然言われても困る。
- ・ 大変よい環境に恵まれました。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	6	2	0	0
物理科学（物質基礎科学）	3	3	0	0
生物科学	1	1	0	0
地球科学（地球史環境科学）	2	5	1	0
情報科学	5	1	0	0
応用化学（物質変換科学）	1	5	1	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	4	6	2	0
災害科学（防災科学）	4	1	1	1
合計	26	24	5	1
割合（％）	46.4	42.9	8.9	1.8

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	2	3	1	0
物理科学（物質基礎科学）	1	4	1	0
生物科学	0	1	1	0
地球科学（地球史環境科学）	1	3	4	0

情報科学	2	3	0	0
応用化学（物質変換科学）	1	4	2	0
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	4	3	2	2
災害科学（防災科学）	1	2	4	
合計	12	23	15	2
割合（％）	21.4	41.1	26.8	3.6

数学(数理科学)

- ・ 博士課程への進学のみを目指しており、就職支援を受けていない為、回答できません。
- ・ 特になし。
- ・ 院進学なので、就職活動はしていない。

物理科学(物質基礎科学)

- ・ 就職室の存在をもっとアピールするべき。

地球科学（地球史環境科学）

- ・ 使っていない。

情報科学

- ・ 技術職に関する支援をしてほしい。

海洋生命・分子工学(生体機能物質工学)

- ・ もう少し、理系分野(特に修士)への支援を充実させて方が良い。
- ・ 就職課へ言っても意見を聞いてくれるだけ。面接の練習以外には役に立たなかったし、求人を出すのは渋られた。結局内定は自力でとった感しかありません。
- ・ ありません。

災害科学(防災科学)

- ・ あまり利用しなかった。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある B. ない

	A	B
数学（数理科学）	0	8
物理科学（物質基礎科学）	0	6
生物科学	0	2
地球科学（地球史環境科学）	1	7
情報科学	0	6
応用化学（物質変換科学）	0	7
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	2	10
災害科学（防災科学）	2	5
合計	5	51
割合（％）	8.9	91.1

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学（数理科学）	-	-	-	-
物理科学（物質基礎科学）	-	-	-	-
生物科学	-	-	-	-
地球科学（地球史環境科学）	0	1	0	0
情報科学	-	-	-	-
応用化学（物質変換科学）	-	-	-	-
海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）	1	1	0	0
災害科学（防災科学）	2	0	0	0
合計	3	2	0	0
割合（％）	60	40	0	0

海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）

- ・ ありません。

9. 理学研究科の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

数学（数理科学）

- ・ 同じ分野に携わる同世代の人が少なく、議論を交わす機会が限られてしまったのが残念ではあった。しかし、研究集会等で他大学の方々と話せる機会もあり、また、特にこの2年間では著名な先生方が高知大学に来られることも多かったため、非常に有意義であったと感じている。
- ・ 特になし/特にありません/なし
- ・ 現状のママがよい。

物理科学（物質基礎科学）

- ・ インターンシップ制度は意味がないのでやめてほしい。

生物科学

- ・ 能力の低い私に合わせて先生方がつきあってくれました。感謝します。

応用化学（物質変換科学）

- ・ 専門実験は（論文にあるような）もっと新しいものを取り入れた方がいいと思いました。

海洋生命・分子工学（生体機能物質工学）

- ・ 先生としてやってはいけないこと、言ってはいけないことが多々あった。この枠には書ききれないので書きませんが・・・
- ・ 研究以外の後輩指導を学生に任せすぎていると思ったことがあった。
- ・ 特になし

災害科学（防災科学）

- ・ 研究室内の人数が多いので広くしてほしい。院と学部を分けてほしい。
- ・ 他のコースの授業がとりにくい。
- ・ 授業を履修する際、HP でできない時があったので改善していただきたいです。
- ・ メディアの森を使いやすくしてほしい。（論文が探しにくい）